

日々の田高（校内の小さな花たち）

校内をゆっくり歩いていると、いつもは気が付かない小さな花たちが咲いていることに気がつきます。

今回は、校内の小さな花たちを紹介します。



ハクチョウゲ（白丁花）

小さく可憐な花が、連なって咲いています。

つぼみは、ピンク色で、白い花の中でもアクセントになっています。

校舎のグラウンド側にいくつも植えられているの常緑低木です。



ヒメツルソバ（姫蔓蕎麦）

コンクリートやアスファルトのすき間に生えています。

ピンクの丸いボンボンと想像していたのですが、近くで見ると、一つ一つが繊細で、金平糖のよう。強い繁殖力をもつので、道端でもあちこち見るかもしれません。実は、「その他の総合対策外来種」に指定されています。明治中期に渡来し、1960年代以降、野生化したそうです。

体育館とグラウンドの間で咲いています。



ハタケニラ（畑萵）

こちらもとても小さい花です。雑草と思いきや、よく見るとこちらの花も可憐な姿。

調べてみると、とても繁殖力が強いそうです。明治時代中期辺りに園芸用として持ち込まれたものが野生化したとされています。

裏門近くのアスファルトのすき間に生えています。